

○ 工 事 概 要

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 電気工作物の種類	○ 一般用電気工作物 ○ 事業用電気工作物(自家用電気工作物)
▷ 2. 工事種目	

【一般建物】

名 称	新 営	改 修	施工の範囲			備 考
電灯設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
動力設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
電熱設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
雷保護設備	○ 一式	○ 一式				
受変電設備	○ 一式	○ 一式				
電力貯蔵設備	○ 一式	○ 一式				
発電設備	○ 一式	○ 一式				
構内情報通信網設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内交換設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
情報表示設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
映像音響設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
拡声設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
誘導支援設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
テレビ共同受信設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
監視カメラ設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
火災報知設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
中央監視制御設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
防犯入退室管理設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内配電線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内通信線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	

【道営住宅】

名 称	新 営	改 修	施工の範囲			備 考
電灯・コンセント設備 (住戸内)	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
動力設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
幹線設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
雷保護設備	○ 一式	○ 一式				
受変電設備	○ 一式	○ 一式				
共用電灯設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
電話配管配線設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
呼出設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
テレビ共同受信設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
火災報知設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
誘導支援設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内配電線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
構内通信線路設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
緊急通報設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	
電波障害防除設備	○ 一式	○ 一式	○ 配管	○ 配線	○ 器具付	

▷ 3. 設備概要

本工事対象建築物の設備概要は下記のとおりとする。
なお、改修工事にあつては改修工事後の設備概要を示し、本工事の対象となつていない設備については記載していない。

引込（電力）	<input type="radio"/> 架空	<input type="radio"/> 地中
引込（通信）	<input type="radio"/> 架空	<input type="radio"/> 地中
受電方式	<input type="radio"/> 低圧受電（ <input type="radio"/> 電灯 <input type="radio"/> 動力）	
	<input type="radio"/> 高圧受電	_____ K V
受電設備	<input type="radio"/> 非常電源専用受電設備	
	<input type="radio"/> 屋内	<input type="radio"/> 屋外
	<input type="radio"/> キュービクル式	<input type="radio"/> 高圧スイッチギア
変圧器	単相 計	_____ K V A
	三相 計	_____ K V A
自家発電装置	種別	<input type="radio"/> ディーゼル機関
		<input type="radio"/> ガス機関
		<input type="radio"/> ガスタービン機関
	発電機出力	_____ K V A
	燃料	<input type="radio"/> 軽油 <input type="radio"/> A重油
		<input type="radio"/> 灯油 <input type="radio"/> ガス
その他発電装置	<input type="radio"/> 燃料電池発電装置	
	<input type="radio"/> 太陽光発電装置	
	<input type="radio"/> 風力発電装置	
直流電源装置	<input type="radio"/> 鉛蓄電池	<input type="radio"/> C S 形
		<input type="radio"/> P S 形
		<input type="radio"/> M S E 形
		<input type="radio"/> 長寿命 M S E 形
		<input type="radio"/> H S E 形
	<input type="radio"/> アルカリ蓄電池	<input type="radio"/> ポケット式
		<input type="radio"/> 焼結式
		<input type="radio"/> 焼結式シール形
直流電源装置の用途	<input type="radio"/> 受変電機器制御電源	<input type="radio"/> 非常用照明
UPS 装置	<input type="radio"/> 常時インバータ給電方式簡易形	
	<input type="radio"/> 常時インバータ給電方式	
	<input type="radio"/> ラインインタラクティブ方式	
	<input type="radio"/> 常時商用給電方式	
UPS 装置の用途	（ _____ ）	
照明制御装置	<input type="radio"/> 人感センサ	
	<input type="radio"/> 明るさセンサ	<input type="radio"/> タイマ
	<input type="radio"/> その他	（ _____ ）
幹線設備	電灯	<input type="radio"/> 単相 3 線式 2 0 0 / 1 0 0 V 5 0 H z
	動力	<input type="radio"/> 三相 3 線式 2 0 0 V 5 0 H z

電熱設備	ロードヒーティング	<input type="radio"/> 単相100V <input type="radio"/> 単相200V <input type="radio"/> 三相200V
	フロアヒーティング	<input type="radio"/> 単相100V <input type="radio"/> 単相200V <input type="radio"/> 三相200V
雷保護設備	受雷部	<input type="radio"/> 突針 <input type="radio"/> 水平導体又はメッシュ導体
	引き下げ導線システム	<input type="radio"/> 引下げ導線 <input type="radio"/> 構造体利用引下げ導線
構内情報通信網設備	インタフェース	<input type="radio"/> 100BASE-TX <input type="radio"/> 1000BASE-T <input type="radio"/> その他 (_____)
	機器	<input type="radio"/> L2スイッチ <input type="radio"/> L3スイッチ <input type="radio"/> ルーター <input type="radio"/> メディアコンバーター <input type="radio"/> その他 (_____)
構内交換設備	回線種別	<input type="radio"/> アナログ <input type="radio"/> INS <input type="radio"/> 専用線 <input type="radio"/> 光
	交換装置	<input type="radio"/> PBX <input type="radio"/> IP-PBX <input type="radio"/> VoIPサーバー <input type="radio"/> クラウド
	実装数/容量数	局線数 _____ / _____ 内線数 _____ / _____
	電話機	<input type="radio"/> 一般形 <input type="radio"/> 多機能形 <input type="radio"/> 停電用 <input type="radio"/> IP電話機 <input type="radio"/> IP電話機(PoE給電)
情報表示設備		<input type="radio"/> マルチサイン装置 <input type="radio"/> 出退表示装置 <input type="radio"/> 時計表示装置 出力回線数 _____ 回線
映像音響設備		<input type="radio"/> 有り <input type="radio"/> 無し
拡声設備		<input type="radio"/> Hi形増幅器 増幅器容量 _____ W <input type="radio"/> 一般放送用 <input type="radio"/> 非常放送用 <input type="radio"/> 遠隔操作器 _____ 箇所
誘導支援設備		<input type="radio"/> 音声誘導装置 <input type="radio"/> インターホン その他機器 <input type="radio"/> テレビインターホン <input type="radio"/> 外部受付用インターホン <input type="radio"/> トイレ等呼出装置 <input type="radio"/> 受付呼出装置
テレビ共同受信設備	アンテナ	<input type="radio"/> UHF <input type="radio"/> BS・110°CS <input type="radio"/> CS

火災報知設備

(1) 自動火災報知設備

受信機 _____ 形 _____ 級 _____ 回線

- 単独盤 複合盤
 壁掛形 自立形

副受信機 _____ 台 _____ 回線

- 自動試験機能 遠隔試験機能
 GP型3級受信機（住戸内）

発信機 _____ 形 _____ 級 組込形 露出形

警報ベル 露出形 組込形

総合盤 単独（ 露出 埋込）

消火栓箱組込形 （消火栓箱は別途工事）

(2) 自動閉鎖設備

自動閉鎖装置連動制御器 単独盤 複合盤

(3) 非常警報設備

- 一体型 複合型
 その他（ 非常ベル 表示灯 起動装置）

(4) ガス漏れ警報設備

電気設備工事で設置 機械設備工事で設置

施工の範囲 配管 配線

基台（警報機は別途）

器具付け

基台は警報出力接点付き、アダプター付きとする。

ガス種別 LPG 都市ガス

中央監視装置

- 警報盤
 簡易型監視制御装置
 監視制御装置

防犯入退室
管理設備

- センサ マグネットスイッチ
 バイブレーションスイッチ
 パッシブセンサ
 制御部 キースイッチ
 暗証番号入力装置
 磁気カード
 ICカード
 機器類は施設管理者リース品である。

外灯設備

架空 地中

ポール種別

- 鋼製塗装 アルミ 溶融亜鉛メッキ塗装
 埋込式 ベースプレート式

ランプ

- LED
 その他（ _____ ）

点滅方式

- 自動式（ 自動点滅器 タイマ）
 手動式

電波障害防除設備

施工方法 架空配線式 地中配線式

アンテナ対策 CATV

受信点 当該施設のテレビアンテナより分岐

新設

既設電波障害防除施設より分岐

【道営住宅】

緊急通報設備

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| ○ 主監視盤 | _____窓 | ○ 副監視盤 | _____窓 |
| 電話回線使用 | ○ 有り | ○ 無し | |
| 外部通報 | ○ 有り | ○ 無し | |

項 目	特 記 事 項							
▷ 1. 電気保安技術者 ▷ 2. 諸手続 ▷ 3. 試運転調整 ▷ 4. 指定仮設 ▷ 5. 足場及び橋類 ▷ 6. 交通誘導警備員 ▷ 7. 工事用動力水等 1) 工事用水 2) 工事用電力 ▷ 8. 使用機材等 ▷ 9. 製品の検査 ▷ 10. 参考図 ▷ 11. 発生材の処理 ▷ 12. 小型2次電池の処理 ▷ 13. イオン化式感知器の処理	<p>電気主任技術者を補佐し、工事監督員の承諾を受け電気工作物の保安業務を行う電気保安技術者をおくこと。</p> <p>本工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、受注者が代行し速やかに行い、費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>この工事に必要な試運転調整の費用は全て受注者の負担とする。</p> <p>* なし ○ 本工事（仮設計画図による）</p> <p>別契約の関係受注者の定置する足場、栈橋の類は、無償で使用できる。</p> <p>建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を確保すること。</p> <p>なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による。</p> <p>配置位置：図面による。</p> <p>警備員詰所：（ ○ 設ける ○ 設けない）</p> <p>表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分の考え方</p> <table border="1" data-bbox="619 835 1422 981"> <thead> <tr> <th>工事現場の出入り口を設ける道路（路線）</th> <th>交通誘導警備員区分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地（DID）内の路線</td> <td rowspan="2">交通誘導警備員A</td> </tr> <tr> <td>北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線</td> </tr> <tr> <td>上記以外の路線</td> <td>交通誘導警備員B</td> </tr> </tbody> </table> <p>市街地内の路線及び認定路線の場合は、交通誘導警備業務を行う場所ごとに交通誘導警備員Aを1人以上配置する。</p> <p>交通誘導警備員Aを配置できない場合で、やむを得ず受注者自らが交通誘導を行う場合は工事監督員と協議すること。</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ * 有償 ○ 無償 ） * 利用できない</p> <p>構内既存の施設 ○ 利用できる（ * 有償 ○ 無償 ） * 利用できない</p> <p>使用する機材は「北海道建設部建築局建築整備課 版設備機材等指定名簿」による。</p> <p>次の機器は原則、工事監督員立会のもとに工場検査を行うこと。 （ _____ ）</p> <p>図中参考図の寸法は概略寸法とする。</p> <p>共通事項特記仕様書による。</p> <p>J B R Cの回収システムを利用すること。</p> <p>共通事項特記仕様書 第1章 16による。</p>	工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分	市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A	北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線	上記以外の路線	交通誘導警備員B
工事現場の出入り口を設ける道路（路線）	交通誘導警備員区分							
市街地（DID）内の路線	交通誘導警備員A							
北海道（各方面）公安委員会告示による認定路線								
上記以外の路線	交通誘導警備員B							

▷ 14. 概数等発注

- (1) 次に示した項目の**工事**数量は概数であり、必要に応じて設計変更するものとする。
なお、設計に対して過大な出来高数量に変更するものではないことに留意すること

7. 工事数量総括表細目別内訳又は別紙明細の備考欄に「概数」又は「概」と表示された項目

4. 次の項目

- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____
- ・ _____

- (2) この工事においては、設計変更図書の作成（設計変更図面の作成及び工事数量の算出）を受注者に行わせることができる。
- (3) 概数として取り扱っている事項の施工に当たっては施工前に工事監督員と協議すること。
なお、数量の確認ができない場合を除き、施工前に数量を確定すること。
- (4) 概数として示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、取り合い等によって新たに必要となる項目についても概数として取り扱うことがある。

▷ 15. 耐震措置

- (1) 「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(日本建築センター発行)及び「道有施設(建築物)の総合耐震計画及び同解説」に基づき、耐震施工を行う。(100kgを超える機器については、計算書を提出すること)

○ 一般の施設 ○ 特定の施設 ○ 甲類 ○ 乙類

- ① 局部震度法による建築設備機器(水槽類を除く)の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中間階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
1階及び 地下階	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

(注) () 内の数値は防振支持機器の場合に適用する

- ② 局部震度法による水槽類の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水槽	一般水槽	重要水槽	一般水槽
上層階 屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び 地下階	1.5	1.0	1.0	0.6

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう

- イ. 災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器
- ロ. 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器
- ハ. 避難、消火等の防災機能を果たす設備機器
- ニ. 火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こす恐れのある設備機器
- ホ. その他これらに類する機器

重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す

また、水槽類にはオイルタンク等を含む

- (2) あと施工アンカーの場合は、監督員と事前協議の上使用すること。

▷ 16. 防災電源（非常電源）	次の設備は防災電源（非常電源）として関係法令等に適合したものであること。
▷ 17. 配分電盤・端子盤類	<p style="text-align: center;">○ キュービクル等 ○ 蓄電池 ○ 発電装置</p> <p>図中に特記がある場合、及び住戸内を除き「電気設備工事（配・分電盤等）標準仕様書 北海道建設部建築局建築整備課令和6年版」を適用する。</p>
▷ 18. 塗装工事	<p>金属管の塗装箇所 * 無し</p> <p style="text-align: center;">○ 有り（ _____ ）</p>
▷ 19. 電線及びケーブル	環境配慮形を使用することを原則とする。
▷ 20. 直線接続材(低圧)	<p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。</p> <p>* JCAA A102 * JCAA K1101</p>
▷ 21. 直線接続材(高圧)	<p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。</p> <p>* JCAA A305</p>
▷ 22. 端末処理材(低圧)	<p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。</p> <p>* JCAA K1101</p>
▷ 23. 端末処理材(高圧)	<p>標準仕様書に記載のあるほか下記による。</p> <p>* JCAA K1301</p>
▷ 24. 位置ボックス	<p>図面に特記がある場合を除き標準仕様書の使用区分による。</p> <p style="text-align: center;">○ 気密処理を行う。</p>
▷ 25. 配線器具用プレート	<p>図中に特記がない場合は下記による。</p> <p>住戸内 ○ 合成樹脂製</p> <p>その他 ○ アルミ合金製 ○ 合成樹脂製</p> <p style="text-align: center;">○ ステンレス製 ○ ネジ止め</p>
▷ 26. フロアプレート	床ボックスに取付のもの（二重床を除く）は水平高低調整形プレートを用いる。
▷ 27. つりボルト	床下ピット等の湿気のある場所に使用するつりボルトは亜鉛メッキ又はステンレス製とする。
▷ 28. ボルト・ナット等	屋外又はそれに類する場所で使用するボルト、ナット等は亜鉛メッキ又はステンレス製とする。
▷ 29. プルボックス	天井内隠蔽部分及び高所取付のプルボックスの蓋に用いるビスは脱落防止ビスとする。
▷ 30. 結露防止	<p>(1) 断熱材は可能な限り欠損させないこと。ただしこれによりがたい場合は、同等以上の処理を行う。</p> <p>(2) 断熱処理箇所に使用するインサートは断熱インサートとする。</p>
▷ 31. 呼び線	長さ1m以上の通線を行わない配管には、導入線（樹脂被覆鉄線等）を挿入する。

項 目	特 記 事 項																																
▷ 1. フロアコンセント	床： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ 上下可動形 ○ ハイテンションアウトレット 床（○Aフロア）： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ ハーネス式 材質： ○ アルミ合金 ○ 銅合金 ○ 樹脂 床（ステージ）： ○ プラグ収納形（アルミ合金鋳物プレート製）																																
▷ 2. タンブラスイッチ	○ 大角形連用 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） ○ ワイドハンドル形 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） 道営住宅階段用は位置表示灯付きとする。 特殊コンセントは表示及びプラグ付きとする。																																
▷ 3. コンセント	○ 大角形連用 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） ○ ワイド形 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ） ○ 単一形 （ ○ 住戸内 ○ 共用部 ○ ）																																
▷ 4. 住戸内分電盤 【道営住宅】	住戸内の分電盤は、樹脂製でリミッタースペース付きとし、主幹ブレーカーは中性線欠相保護機能付漏電遮断器とする。																																
▷ 5. インバータ装置の 規約効率	三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は、原則として下表の数値以上とする。 <table border="1" data-bbox="571 1234 1453 1308"> <tr> <td></td> <td>0.4</td> <td>0.75</td> <td>1.5</td> <td>2.2</td> <td>3.7</td> <td>5.5</td> <td>7.5</td> </tr> <tr> <td>インバ-タ効率(%)</td> <td>85.0</td> <td>87.0</td> <td>88.5</td> <td>89.5</td> <td>90.0</td> <td>90.5</td> <td>91.0</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="571 1341 1453 1415"> <tr> <td>電動機出力(kW)</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>18.5</td> <td>22</td> <td>30</td> <td>37</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>インバ-タ効率(%)</td> <td>91.5</td> <td>92.0</td> <td>92.5</td> <td>93.0</td> <td>93.5</td> <td>94.0</td> <td>94.5</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・電動機の供給電圧は200V又は400V ・インバータ効率は100%負荷時の効率 		0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	インバ-タ効率(%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0	電動機出力(kW)	11	15	18.5	22	30	37	45	インバ-タ効率(%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5
	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5																										
インバ-タ効率(%)	85.0	87.0	88.5	89.5	90.0	90.5	91.0																										
電動機出力(kW)	11	15	18.5	22	30	37	45																										
インバ-タ効率(%)	91.5	92.0	92.5	93.0	93.5	94.0	94.5																										

▷ 6. 雷保護設備適用規格	○ J I S A 4 2 0 1 : 2 0 0 3 保護レベル ○ I ○ II ○ III ○ IV
▷ 7. 幹線 【道営住宅】	○ J I S A 4 2 0 1 : 1 9 9 2
▷ 8. 接地極	○ プレハブケーブル ○ EM-CETケーブル ○ I E A種・B種・C種接地は銅板（900×900×1.5t）とし、それ以外の接地は銅又は銅覆鋼製接地棒とする。 (2) 接地極上端の埋設深さは、凍結深度以上とする。ただし、凍結深度0.75m未満の場合は、埋設深さを0.75mとする。
▷ 9. 接地極埋設標	形状は、140H×90W×1.0tとし、文字は刻記、腐食加工とし、設置者名は「北海道」とする。 材質はステンレス製とする。
▷ 10. 分電盤等の予備配管	予備の配線用遮断器が4個以下の場合は、（PF22）相当を1本以上、5個以上の場合は、（PF22）相当を2本以上を二重天井内まで立ち上げるものとする。ただし、シャフト内は適用しない。
▷ 11. 電動機等への接続	別途工事の電動機等への配線接続は本工事とする。
▷ 12. 住戸内の屋内配管及びボックス	○ 内装プレハブ（該当箇所の配管及びボックスについて、専門業者と協議すること。） ○ 内装在来工法
▷ 13. 一般照明の照度測定	明るさセンサによる照度制御をおこなう室については、JIS-C-7612「照度測定方法」に準拠し、照度測定をおこなうこと。 測定箇所については、監督員と協議の上決定すること。

**発電設備工事**

項目	特記事項
▷ 1. 主燃料槽 ▷ 2. 防油提	「危険物規制に関する技術上の基準の細目を定める告示」によるほか所轄消防署が承認したものとする。 ○ 本工事 ○ 別途工事

**通信・情報設備工事**

項目	特記事項
▷ 1. 情報用アウトレット ▷ 2. 電話用アウトレット ▷ 3. 電波障害防除設備工事の留意事項等	壁： ○ モジュラジャック 床： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ その他 床（○Aフロア）： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 材質： ○ アルミ合金 ○ 銅合金 ○ 樹脂 壁： ○ モジュラジャック ○ 6極2芯コンデンサー付き ○ 6極4芯コンデンサー付き ○ ノズルプレート 床： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 ○ ローテーションアウトレット(亀甲形) 床（○Aフロア）： ○ アップ形 ○ プラグ収納形 材質： ○ アルミ合金 ○ 銅合金 ○ 樹脂 (1) 必要な官庁関係手続きは全て実施する。 (2) 施工にあたっては第3者災害に注意し、作業範囲の安全対策を実施する。 (3) 対策前後のテレビ受信状況写真を提出する。 (4) 工事期間中の電気料金及び電柱借用料金その他は、本工事にて負担する。

**映像・音響設備工事**

項目	特記事項
▷ 1. 映像信号伝送用ケーブル	○ HDMIケーブル ○ HDbaseTアライアンス推奨ケーブル

○	構内配電線路設備 構内通信線路設備
---	------------------------------------

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 標識シート ▷ 2. ケーブル標識 ▷ 3. 高圧柱上機器仕様 ▷ 4. 高圧ケーブルの屋外端末処理仕様 ▷ 5. 端末処理者銘板 ▷ 6. ハンドホール ▷ 7. ケーブル保護管 ▷ 8. 外灯遮断方式 ▷ 9. 外灯金属部の接地 ▷ 10. 土工	(1) シートは、繊維補強付樹脂シートとし、2倍以上重ね合わせ、おおむね2mの間隔で用途又は電圧種別（通信線路は用途）を表示する。 (2) 埋設シートを設ける範囲は次による。 ○ 高圧又は特別高圧 ○ 低圧 ○ 通信線路 高圧用・低圧用； コンクリート製（80角×300）の頂部に矢印（赤）を刻印したもの。 通信用； コンクリート製（80角×300）の頂部に矢印（黄）を刻印したもの。 鉄製（舗装面用）；25φ <div style="text-align: center;"> _____ KV _____ A <input type="checkbox"/> 重耐塩形 <input type="checkbox"/> 過電流ロック付 <input type="checkbox"/> 地絡保護装置付 <input type="checkbox"/> 密閉形 <input type="checkbox"/> 耐塩形 </div> 屋内外とも、高圧ケーブルの端末処理者銘板を取り付けること。 ハンドホールにケーブル支持金物（亜鉛メッキ軽量形鋼同等品）を2本以上取り付け、接地する。（低圧を除く） 内外面溶融亜鉛めっき厚鋼電線管とする。（土中は防食テープ巻き） 外灯ポール内には配線用遮断器（防水仕様）を設置する。 ポールごとに接地極を設置する。 発生土等の処理 ○ 構外搬出（約 _____ km） 捨て場所（ _____ ） 捨て土ならし <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し ○ 構内敷ならし <input type="checkbox"/> 構内指示場所に堆積 埋め戻し ○ 掘削土の良質土 ○ （ _____ ） 管周囲の保護 ○ 山砂 ○ 掘削土の良質土

項 目	特 記 事 項
▷ 1. 石綿含有建材の除去工事	<p>改修工事標準仕様書（建築工事編）第9章及び以下による。 施工調査 (9.1.1)</p> <p>建材の石綿含有調査は、次による。 施工調査の結果を書面により監督員へ報告する。 施工調査の結果、設計図書等と異なる場合は、工事監督員と協議する。</p> <p>(1) 調査範囲 (9.1.1)</p> <p>○ 分析調査 _____ヶ所 調査部位 _____</p> <p>○ 分析調査済：含有建材等は図面による。 分析結果 ○ 石綿含有 ○ 石綿非含有 分析方法は、JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有率測定法」とする。 ○ 既存の石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○ 貸 与 ○ 無</p> <p>(2) 分析方法 (9.1.1)</p> <p>* JIS A 1481-2（建材製品中の含有率測定方法—第2部：試料採取及び石綿含有の有無を判定するための定性分析方法）とする。</p> <p>○ _____</p> <p>(3) 石綿含有建材除去後の仕上げ ○ 図示 (9.1.1)</p> <p>(4) 石綿粉じん濃度測定 * 行う ○ 行わない (9.1.1)</p> <p>測定方法 ○ 図示 ○ _____ 測定時期 ○ 図示 ○ _____ 測定場所 ○ 図示 ○ _____ 測定箇所数 ○ 図示 ○ _____</p>
▷ 2. 除去工事共通事項	<p>(1) 処理を行う吹付け材の種類及び処理方法 種類 _____ 処理方法 * 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み （処理を行う範囲は図示）</p> <p>(2) 処理を行う保温材等の種類及び処理方法 種類 _____ 処理方法 * 除去 ○ 封じ込め ○ 囲い込み （処理を行う範囲は図示）</p>
▷ 3. 石綿含有吹付け材の除去等	<p>(1) 石綿含有吹付け材の除去方法 (9.1.3)</p> <p>* 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ○ _____</p> <p>(2) 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置及び梱包 (9.1.1 9.1.3)</p> <p>① 飛散防止措置 * 湿潤化 ○ 固化 ② 梱包 * 密封処理(二重袋梱包) ○ _____</p> <p>(3) 除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 (9.1.3)</p> <p>○ 埋め立て処分 * 管理型最終処分場 場所： _____ ○ _____ 場所： _____</p> <p>○ 中間処理 * 無害化処理施設 場所： _____ ○ _____ 場所： _____</p>
▷ 4. 石綿含有保温材等の除去	<p>(1) 石綿含有保温材等の除去方法 (9.1.4)</p> <p>種類： _____</p>

▷ 5. 石綿含有成形板等の除去

除去方法 切断又は破碎 手ばらし 切断
 作業場の隔離 本体搬出

種類： _____

除去方法 切断又は破碎 手ばらし 切断
 作業場の隔離 本体搬出

(2) 作業場の隔離 * 行う 行わない (9.1.4)

(1) 石綿含有成形板の種類 (9.1.5)

種類 _____

種類 _____

種類 _____

(2) 石綿含有せっこうボードの石綿含有吹付材等の処分 (9.1.5)

埋め立て処分

* 安定型最終処分場 場所 _____

(3) 石綿含有せっこうボードを除く石綿含有吹付材等の処分 (9.1.5)

埋め立て処分

* 安定型最終処分場 場所 _____

_____ 場所 _____

中間処理

* 無害化処理施設 場所 _____

_____ 場所 _____

○ 機器取り付け高さ

項目	特記事項		
▷ 1. 機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。			
【一般建物】			
	名称	測定	取付高 (mm)
共電 通力	取引用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	床上～中心	1,800
電 灯	分電盤	〃	1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ	〃	1,150
	コンセント (一般)	〃	500
	〃 (和室)	〃	200
	〃 (台上)	台上～中心	150
	〃 (土間)	床上～中心	800～1,300
	ブラケット (一般)	〃	2,100～2,500
	〃 (踊場)	〃	2,500
〃 (鏡上)	鏡上端～中心	150	
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	開閉器箱	〃	1,500
	操作スイッチ	〃	1,300
電 話	端子盤	床上～下端	500
	保安器箱	床上～中心	2,000
	壁付位置ボックス	〃	500
	〃 (和室)	〃	200
	壁付インターホン	〃	1,150
	壁付位置ボックス	〃	1,150
〃 (和室)	〃	200	
時計 拡声	壁掛形親時計	〃	1,500 (上端1,900以下)
	子時計	〃	2,300
	壁掛形スピーカ	〃	2,300
	アッテネーター	〃	1,150
表 示	表示盤	〃	2,300
	壁付発信器	〃	1,150
	ベル・ブザー・チャイム	〃	2,300
	壁付ボタン	〃	1,150
多目的便所呼出ボタン	〃	1,000	
共同 テレビ 受信	分配器箱	床上～上端	1,900
	テレビアウトレット	床上～中心	500
	〃 (和室)	〃	200
	収容箱	床上～上端	1,900
火災 報知	受信機・副受信機	床上～中心	1,500
	総合盤	〃	1,300
	発信機	〃	1,300
	電鈴	〃	2,300

【道営住宅】

	名 称	測 定	取 付 高 (mm)
電 灯	分電盤(共用等)	床上～中心	1, 500～2, 100
	分電盤(住戸用一般)	〃	1, 650
	分電盤(住戸用 車いす対応)	〃	1, 200
	スイッチ	〃	1, 000
	コンセント(一般)	〃	400
	〃 (和室)	〃	300
	〃 (台上)	台上～中心	150
	〃 (冷蔵庫用)	床上～中心	1, 800
	〃 (給湯器・洗面台用)	〃	1, 300
	ブラケット(一般)	〃	2, 100～2, 500
〃 (踊場)	〃	2, 500	
電 話	壁付位置ボックス	床上～中心	400
	〃 (和室)	〃	300
表 示	壁付発信器	〃	1, 000
	ベル・ブザー・チャイム	〃	1, 900～2, 300
	多目的便所呼出ボタン	〃	1, 000
イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン	〃	1, 000
	壁付位置ボックス	〃	1, 000
テ レ ビ 受 信	テレビアウトレット	〃	400
	〃 (和室)	〃	300
火 災 報 知	受信機	床上～操作部	800～1, 500